

都立拝島高等学校 令和8年度 教科

公民 科目 政治・経済

教科：公民 科目：政治・経済

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 1組～ 7組

教科担当者：（1、2、3、4、5、6組：大野 7組：田中）

使用教科書：（第一学習社版「高等学校 政治・経済」）

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

科目 政治・経済 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断している。	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 時 数
<p>1 学 期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>政治や政治権力の意味とその役割について、理解している。</li> <li>法の支配や立憲主義の意味と意義について、理解している。</li> <li>個人の尊重や憲法によって保障されている自由や平等について、多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>日本国憲法と現代政治のあり方との関連について、多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>日本の政党政治や選挙の課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>「望ましい政治のあり方と主権者としての政治参加のあり方」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。</li> <li>経済の役割と、市場経済における人々の選択について、理解している。</li> <li>企業の社会的責任のあり方について、多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>物価や景気の変動に対する政府の施策について、理解している。</li> <li>自立した消費者としてどのような行動をとるべきか、多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>「市場経済の機能と限界」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。</li> </ul>	<p>オリエンテーション</p> <p>第1節 日本国憲法と現代政治のあり方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①政治と法の意義と機能</li> <li>②法の支配と立憲主義</li> <li>③基本的人権の保障と日本国憲法</li> <li>④現代社会における新しい人権</li> <li>⑤権利と義務との関係</li> <li>⑥議会制民主主義と世界の政治体制</li> <li>⑦国会の組織と立法</li> <li>⑧内閣の機構と行政</li> <li>⑨裁判所の機能と司法制度</li> </ul> <p>第2節 望ましい政治のあり方と主権者としての政治参加のあり方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①地方自治制度と住民の権利</li> <li>②政党政治と選挙</li> </ul> <p>第3節 市場経済の機能と限界</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①経済活動と市場</li> <li>②経済主体と経済循環</li> <li>③国民経済の大きさと経済成長</li> <li>④物価と景気変動</li> <li>⑤市場の失敗と公害・消費者問題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>政治や政治権力の意味とその役割について、理解している。</li> <li>法の支配や立憲主義の意味と意義について、理解している。</li> <li>個人の尊重や憲法によって保障されている自由や平等について、多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>日本国憲法と現代政治のあり方との関連について、多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>日本の政党政治や選挙の課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>「望ましい政治のあり方と主権者としての政治参加のあり方」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。</li> <li>経済の役割と、市場経済における人々の選択について、理解している。</li> <li>企業の社会的責任のあり方について、多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>物価や景気の変動に対する政府の施策について、理解している。</li> <li>自立した消費者としてどのような行動をとるべきか、多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>「市場経済の機能と限界」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	25

2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財政の機能としくみについて、理解している。</li> <li>・持続可能な財政のあり方を多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</li> <li>・「持続可能な財政および租税のあり方」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。</li> <li>・現在の日本経済の現状と課題について、理解している。</li> <li>・現在の日本の労働問題や、労働環境をめぐる課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>・日本の社会保障制度について、理解している。</li> <li>・日本の社会保障制度の課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>・取り上げた課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決し、合意形成や社会参画に向かおうとしている。</li> <li>・21世紀以降の国際社会の動向について、理解している。</li> <li>・勢力均衡と集団安全保障の違いについて、理解している。</li> <li>・日米安全保障協力の変化と自衛隊の海外派遣について、理解している。</li> <li>・国際社会において日本がこれから果たすべき役割について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</li> <li>・現在の世界と日本の貿易の現状と動向について、考察し、表現している。</li> <li>・国民経済と国際経済の関係において、国益と地球的な規模での協調が求められている現状と問題点について、多面的・多角的に考察、表現している。</li> </ul>	<p>第4節 持続可能な財政および租税のあり方</p> <p>第5節 金融を通じた経済活動の活性化</p> <p>①金融のしくみとはたらき</p> <p>第6節 経済活動と福祉の向上</p> <p>①日本経済の変化と中小企業・農業問題</p> <p>②労使関係と労働問題</p> <p>③社会保障制度と福祉のあり方</p> <p>第2章 現代日本の諸課題の探究</p> <p>第2編 グローバル化する国際社会の諸課題</p> <p>第1章 現代の国際政治・経済</p> <p>第1節 国際法の果たす役割</p> <p>①国際社会の変遷</p> <p>②国際法の意義</p> <p>③国際機構の役割</p> <p>④国際紛争と軍縮への取り組み</p> <p>第2節 国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割</p> <p>①日本の安全保障と国際貢献</p> <p>第3節 相互依存関係が深まる国際経済の特質</p> <p>①貿易の現状と意義</p> <p>②国民経済と国際収支</p> <p>③為替相場の変動</p> <p>④国際協調と国際経済機関の役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財政の機能としくみについて、理解している。</li> <li>・持続可能な財政のあり方を多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</li> <li>・「持続可能な財政および租税のあり方」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。</li> <li>・現在の日本経済の現状と課題について、理解している。</li> <li>・現在の日本の労働問題や、労働環境をめぐる課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>・日本の社会保障制度について、理解している。</li> <li>・日本の社会保障制度の課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>・取り上げた課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決し、合意形成や社会参画に向かおうとしている。</li> <li>・21世紀以降の国際社会の動向について、理解している。</li> <li>・勢力均衡と集団安全保障の違いについて、理解している。</li> <li>・日米安全保障協力の変化と自衛隊の海外派遣について、理解している。</li> <li>・国際社会において日本がこれから果たすべき役割について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</li> <li>・現在の世界と日本の貿易の現状と動向について、考察し、表現している。</li> <li>・国民経済と国際経済の関係において、国益と地球的な規模での協調が求められている現状と問題点について、多面的・多角的に考察、表現している。</li> </ul>	○	○	○	30
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際経済における日本の地位について、理解している。</li> <li>・国際経済の安定と成長のために果たすべき日本の役割について、考察、構想し、表現している。</li> <li>・社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、他者と協働して持続可能な社会の形成が求められる国際社会の諸課題を探究する活動を通して、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、よりよい社会のあり方についての自分の考えを説明、論述している。</li> <li>・取り上げた課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決し、合意形成や社会参画に向かおうとしている。</li> </ul>	<p>第4節 国際経済において求められる日本の役割</p> <p>①国際経済における日本の地位と国際協力</p> <p>第2章 国際社会の諸課題の探究</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際経済における日本の地位について、理解している。</li> <li>・国際経済の安定と成長のために果たすべき日本の役割について、考察、構想し、表現している。</li> <li>・社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、他者と協働して持続可能な社会の形成が求められる国際社会の諸課題を探究する活動を通して、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、よりよい社会のあり方についての自分の考えを説明、論述している。</li> <li>・取り上げた課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決し、合意形成や社会参画に向かおうとしている。</li> </ul>	○	○	○	15
							70